



## URI ダイヤリングの設定

---

- [URI ダイヤリングの概要, 1 ページ](#)
- [URI ダイヤリングの前提条件, 2 ページ](#)
- [URI ダイヤリング設定のタスク フロー, 3 ページ](#)

## URI ダイヤリングの概要

Cisco Unified Communications Manager は、コールアドレッシングにディレクトリ URI を使用するダイヤリングをサポートしています。ディレクトリ URI は Uniform Resource Identifier、つまり、ディレクトリ番号を識別するために使用できる文字列です。ディレクトリ URI の形式は電子メールアドレスと同様 `username@host` の形式で、ホスト部分は IPv4 アドレスまたは完全修飾ドメイン名です。ディレクトリ番号を電話に割り当てると、Cisco Unified Communications Manager は、ディレクトリ URI を使用してその電話にコールをルーティングできます。URI ダイヤリングは、ディレクトリ URI をサポートする SIP および SCCP エンドポイントで使用できます。

## ディレクトリ URI 形式

ディレクトリ URI は、@ 記号で区切られたユーザとホストアドレスで構成される英数字の文字列です。

Cisco Unified Communications Manager は次のディレクトリ URI の形式をサポートしています。

- `user@domain` (たとえば、`joe@cisco.com`)
- `user@ip_address` (たとえば、`joe@10.10.10.1`)

システムはディレクトリ URI のユーザ部分 (@ 記号の前の部分) では次の形式をサポートします。

- 使用可能な文字は、`a-z`、`A-Z`、`0-9`、`!`、`$`、`%`、`&`、`*`、`_`、`+`、`~`、`-`、`=`、`\`、`?`、`\`、`'`、`..`、`/` です。
- ユーザ部分は最大 47 文字までです。

- ディレクトリ URI がデータベースに保存されている場合、Cisco Unified Communications Manager は、次の文字にパーセント エンコーディングを自動的に適用します。

# % ^ ` { } | \ : " < > [ ] \ ' およびスペース。



- (注) パーセントエンコーディングを適用すると、ディレクトリ URI の桁数が増えます。たとえば、ディレクトリ URI として joe smith#@cisco.com (20 文字) を入力した場合、Cisco Unified Communications Manager は、ディレクトリ URL を joe%20smith%23@cisco.com (24 文字) としてデータベースに保存します。データベースの制限により、[ディレクトリ URL (Directory URI) ] フィールドの最大長は 254 文字となります。

Cisco Unified Communications Manager は、ディレクトリ URI のホスト部分 (@ 記号の後の部分) で次の形式をサポートしています。

- IPv4 アドレスまたは完全修飾ドメイン名をサポートします。
- 使用可能な文字は、英数字、ハイフン (-)、ドット (.) です。
- ホスト部分をハイフン (-) で開始または終了することはできません。
- ホスト部分に、連続した 2 つのドットを含めることはできません。
- ホスト部分の最短の長さは 2 文字です。
- ホスト部分では、大文字と小文字は区別されません。



- (注) [Cisco Unified Communications Manager の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration) ] 内で、一括管理を使用して、二重引用符とカンマが埋め込まれたディレクトリ URI を含む CSV ファイルをインポートする場合は、ディレクトリ URI 全体を二重引用符 (") で囲む必要があります。

## URI ダイヤリングの前提条件

URI ダイヤリングを設定する前に、ILS ネットワークを設定し、ILS ネットワークのグローバルダイヤルプランレプリケーションを有効にする必要があります。このタスクを実行するには、次のセクションを参照してください。

- [グローバルダイヤルプランレプリケーションのタスクフロー](#)
- [ILS 設定のタスクフロー](#)

# URI ダイヤリング設定のタスク フロー

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	ディレクトリ URI をネットワーク内のローカルクラスタに割り当てます。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザへのディレクトリ URI の割り当て, (4 ページ)</li> <li>• 電話番号とディレクトリ URI の関連付け, (4 ページ)</li> </ul>	エンドユーザをシステムにプロビジョニングし、ディレクトリ URI をそれらのエンドユーザに割り当てます。また、電話番号を設定し、ディレクトリ URI をその電話番号と関連付けます。  (注) エンドユーザの設定と電話番号の設定の両方で、一括管理を使用して、エンドユーザ、ディレクトリ URI、電話番号および電話を Cisco Unified Communications Manager にインポートすることもできます。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration ガイド』 ( <a href="http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html">http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html</a> ) を参照してください。
ステップ 2	デフォルトディレクトリ URI パーティションの割り当て, (5 ページ)	デフォルトのディレクトリ URI パーティションをコーリングサーチスペースにある既存のパーティションに割り当てます。
ステップ 3	URI ダイアルの SIP プロファイルの設定, (6 ページ)	SIP プロファイルを設定して、ネットワーク内のクラスタ間ダイヤリングを設定します。
ステップ 4	URI ダイアルの SIP トランクの設定, (7 ページ)	Cisco Unified Communications Manager が、発信 SIP メッセージに対して電話番号、ディレクトリ URI、または混合アドレスを挿入するかどうかを設定します。
ステップ 5	SIP ルート パターンの設定, (8 ページ)	クラスタ間ディレクトリ URI コールをルーティングするための SIP ルート パターンを設定します。
ステップ 6	ILS ネットワーク内の全クラスタについて手順 1 ~ 5 を繰り返します。	この手順は、ILS ネットワーク内に複数のクラスタがある場合に実行します。
ステップ 7	ディレクトリ URI カタログのインポート, (9 ページ)	(オプション) ディレクトリ URI コールを Cisco TelePresence Video Communication Server またはサードパーティコール制御システムに発信する場合は、その他のシステム用の CSV ファイルからのディレ

	コマンドまたはアクション	目的
		クトリ URI カタログを ILS ネットワーク内のハブ クラスタにインポートします。

## ユーザへのディレクトリ URI の割り当て

エンドユーザにディレクトリ URI を割り当てるには、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理で、[ユーザの管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] を選択します。
- ステップ 2** [ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウで、検索条件を指定し、[検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 3** 表示された一覧からユーザを選択します。[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** [ディレクトリ URI (Directory URI)] フィールドで、このエンドユーザに関連付けるディレクトリ URI を入力します。ディレクトリ URI は電子メールアドレスのように、user@host の形式に従っています。
- (注) ディレクトリ URI を入力し、[プライマリエクステンション (Primary Extension)] フィールドに電話番号も入力した場合、このディレクトリ URI は自動的に、その電話番号に関連付けられたプライマリ ディレクトリ URI になります。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
- 

### 次の作業

[電話番号とディレクトリ URI の関連付け, \(4 ページ\)](#)

### 関連トピック

[ディレクトリ URI 形式, \(1 ページ\)](#)

## 電話番号とディレクトリ URI の関連付け

電話番号とディレクトリ URI を関連付けるには、次の手順を実行します。ディレクトリ番号を電話に割り当てると、Cisco Unified Communications Manager では、ディレクトリ URI を使用してその電話にダイヤルできます。

## はじめる前に

[ユーザへのディレクトリ URI の割り当て, \(4 ページ\)](#)

## 手順

- 
- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択します。[電話の検索と一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウが表示されます。
  - ステップ 2 フィルタ条件を指定し、[検索 (Find)] をクリックします。
  - ステップ 3 電話番号を関連付けるデバイスをクリックします。[電話機の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウが表示されます。
  - ステップ 4 [関連付け (Association)] ペインで以下を実行します。
    - 既存の電話番号をクリックします。
    - 電話番号が設定されていない場合、[新しい DN を追加 (Add a new DN)] をクリックします。
  - ステップ 5 電話番号の設定 (Directory Number Configuration) ウィンドウで、[URI] テキストボックスにディレクトリ URI アドレスを入力します。
  - ステップ 6 [パーティション (Partition)] ドロップダウン リストから、ディレクトリ URI が属するパーティションを選択します。  
ユーザが入力するディレクトリ URI は、選択したパーティション内で一意であることを確認します。URI へのアクセスを制限しない場合、パーティションに対して [なし (None)] を選択します。
  - ステップ 7 [保存 (Save)] をクリックします。
- 

## 次の作業

[デフォルト ディレクトリ URI パーティションの割り当て, \(5 ページ\)](#)

# デフォルト ディレクトリ URI パーティションの割り当て

デフォルト ディレクトリ URI パーティションを割り当てるには、次の手順を実行します。

## はじめる前に

[電話番号とディレクトリ URI の関連付け, \(4 ページ\)](#)

## 手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理で、[システム (System)] > [エンタープライズ パラメータ (Enterprise Parameters)] を選択します。[エンタープライズ パラメータ設定 (Enterprise Parameters Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [エンドユーザ パラメータ (End User Parameters)] エリアの [ディレクトリ URI エイリアス パーティション (Directory URI Alias Partition)] で、既存のコーリング サーチ スペースに含まれる既存のパーティションを選択します。
- ステップ 3** [保存 (Save)] をクリックします。
- 

## 次の作業

[URI ダイヤルの SIP プロファイルの設定, \(6 ページ\)](#)

## URI ダイヤルの SIP プロファイルの設定

## はじめる前に

[デフォルト ディレクトリ URI パーティションの割り当て, \(5 ページ\)](#)

## 手順

- 
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [SIP プロファイル (SIP Profile)] を選択します。[SIP プロファイルの検索と一覧表示 (Find and List SIP Profiles)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 適切な検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。既存の SIP プロファイルのリストが表示されます。
- ステップ 3** 表示する SIP プロファイルを選択します。[SIP プロファイルの設定 (SIP Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** [ダイヤル文字列の解釈 (Dial String Interpretation)] ドロップダウンリストから、次のいずれかのオプションを選択します。
- [常にすべてのダイヤル文字列をURIアドレスとして処理 (Always treat all dial strings as URI addresses)] : URI アドレスを着信コールのアドレスとして処理するには、このオプションを選択します。
  - [電話番号は 0 ~ 9、A ~ D、\*、#、+ で構成 (これ以外はURIアドレスとして処理) (Phone number consists of characters 0-9, A-D, \*, and + (others treated as URI addresses))] : SIP ID ヘッダーのユーザ部分のすべての文字がこの範囲に含まれる場合は、このオプションを選択して、着信コールを電話番号として扱います。アドレスのユーザ部分で、この範囲外の文字を使用している場合は、アドレスは URI として扱われます。

- [電話番号は 0 ～ 9、\*、#、+ で構成（これ以外は URI アドレスとして処理）（Phone number consists of characters 0-9, \*, and + (others treated as URI addresses)）] : SIP ID ヘッダーのユーザ部分のすべての文字がこの範囲に含まれる場合は、このオプションを選択して、着信コールを電話番号として扱います。アドレスのユーザ部分で、この範囲外の文字を使用している場合は、アドレスは URI として扱われます。

**ステップ 5** ネットワーク内のすべての SIP プロファイルの [SIP 要求で完全修飾ドメイン名を使用（Use Fully Qualified Domain Name in SIP Requests）] チェックボックスをオンにします。

**ステップ 6** [設定の適用（Apply Config）] をクリックします。

### 次の作業

[URI ダイアルの SIP トランクの設定, \(7 ページ\)](#)

## URI ダイアルの SIP トランクの設定

ネットワークの SIP トランクを確認して、Cisco Unified Communications Manager で電話番号、ディレクトリ URI、またはディレクトリ番号とディレクトリ URI の両方を含むアドレスが、発信 SIP メッセージの SIP ID ヘッダーに挿入されるかどうかを確認します。

### はじめる前に

[URI ダイアルの SIP プロファイルの設定, \(6 ページ\)](#)

### 手順

**ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理（Cisco Unified CM Administration）] で、[デバイス（Device）] > [トランク（Trunk）] を選択します。[トランクの検索と一覧表示（Find and List Trunks）] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 詳細な検索条件を入力し、[検索（Find）] をクリックします。[トランクの設定の検索と一覧表示（Find and List Trunks）] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** [発信コール（Outbound Calls）] 領域で、[発呼側および接続側情報形式（Calling and Connected Party Info Format）] ドロップダウンリストから、以下のいずれかを選択します。

- [接続側にのみ DN を配信（Deliver DN only in connected party）] : Cisco Unified Communications Manager は、発信 SIP メッセージで、発信者の電話番号を SIP 連絡先ヘッダー情報に挿入します。これがデフォルトの設定です。
- [接続側にのみ DN を配信（使用可能な場合）（Deliver URI only in connected party, if available）] : Cisco Unified Communications Manager は、発信 SIP メッセージで、発信者のディレクトリ URI を SIP 連絡先ヘッダーに挿入します。ディレクトリ URI が使用できない場合、Cisco Unified Communications Manager は電話番号を挿入します。

- [接続側にのみURIおよびDNを配信（使用可能な場合）（Deliver URI and DN in connected party, if available）]：Cisco Unified Communications Manager は、発信 SIP メッセージで、発信者のディレクトリ URI および電話番号を SIP 連絡先ヘッダーに挿入します。ディレクトリ URI が使用できない場合、Cisco Unified Communications Manager は電話番号のみを追加します。

**ステップ 4** [保存（Save）] をクリックします。

---

#### 次の作業

[SIP ルート パターンの設定, \(8 ページ\)](#)

## SIP ルート パターンの設定

クラスタ間のディレクトリ URI コールをルーティングするには SIP ルート パターンを設定する必要があります。

SIP ルート パターンを設定するには、次の手順に従います。

#### はじめる前に

[URI ダイアルの SIP トランクの設定, \(7 ページ\)](#)

#### 手順

---

**ステップ 1** Cisco Unified CM の管理で、[コール ルーティング（Call Routing）]>[SIP ルート パターン（SIP Route Pattern）] を選択します。

**ステップ 2** 次のいずれかのオプションを選択します。

- 新しい SIP ルート パターンを追加するには、[新規追加（Add New）] ボタンをクリックします。
- 既存の SIP ルート パターンの設定を変更するには、検索条件を入力して [検索（Find）] をクリックし、結果のリストから SIP ルート パターンを選択します。

**ステップ 3** [SIP ルート パターンの設定（SIP Route Pattern Configuration）] ウィンドウで各フィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

**ステップ 4** [保存（Save）] をクリックします。

---

#### 次の作業

(オプション) [ディレクトリ URI カタログのインポート, \(9 ページ\)](#)



## ディレクトリ URI カタログのインポート

Cisco Unified Communications Manager により、グローバルダイヤルプランを CSV ファイルから ILS ネットワークのハブ クラスタにインポートできます。ILS はインポートしたグローバルダイヤルプランのデータを ILS ネットワーク全体に複製して、Cisco Unified Communications Manager が Cisco TelePresence Video Communications Server や サードパーティ コール制御システムと相互運用できるようにします。

(オプション) ディレクトリ URI カタログをインポートするには、次の手順に従ってください。

### 手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理から、[コールルーティング (Call Routing)] > [グローバルダイヤルプランレプリケーション (Global Dial Plan Replication)] > [グローバルダイヤルプランレプリケーション (Imported Global Dial Plan Catalog)] を選択します。
- ステップ 2** [インポートしたグローバルダイヤルプランカタログの検索とリスト (Find and List Imported Global Dial Plan Catalogs)] ウィンドウで、次のいずれかのタスクを実行します。
  - 既存のダイヤルプランカタログの設定を変更するには、[検索 (Search)] をクリックし、結果リストから既存のカタログを選択します。
  - 新しいカタログを追加するには、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3** [インポートしたグローバルダイヤルプランカタログ (Imported Global Dial Plan Catalog Settings)] ウィンドウの [名前 (Name)] フィールドに、インポートするカタログを識別する一意の名前を入力します。
- ステップ 4** (オプション) [説明 (Description)] フィールドに、カタログの説明を入力します。
- ステップ 5** [ルート文字列 (Route String)] フィールドに、カタログをインポートしているシステムのルート文字列を作成します。  
ルート文字列は最大 250 文字長の英数字であり、ドットおよびダッシュを含めることができます。
- ステップ 6** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 7** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[一括管理 (Bulk Administration)] > [ファイルのアップロード/ダウンロード (Upload/Download Files)] を選択します。
- ステップ 8** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 9** [参照 (Browse)] をクリックして、インポートするカタログの CSV ファイルを選択します。インポートに使用する CSV ファイルが Cisco Unified Communications Manager と互換性があることを確認します。たとえば、バージョン 9.0(1) へのインポートをサポートする CSV ファイルは、バージョン 10.0(1) とは互換性がありません。

- ステップ 10** [ターゲットを選択 (Select the Target) ] ドロップダウンリストで、[インポートしたディレクトリ URL とパターン (Imported Directory URIs and Patterns) ] を選択します。
- ステップ 11** [トランザクションタイプを選択 (Select Transaction Type) ] ドロップダウンリストで、[インポートしたディレクトリ URL とパターンを挿入 (Insert Imported Directory URIs and Patterns) ] を選択します。
- ステップ 12** [保存 (Save) ] をクリックします。
- ステップ 13** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration) ] で、[一括管理 (Bulk Administration) ] > [ディレクトリ URL とパターン (Directory URIs and Patterns) ] > [インポートしたディレクトリ URL とパターンを挿入 (Insert Imported Directory URIs and Patterns) ] を選択します。
- ステップ 14** [ファイル名 (File Name) ] ドロップダウンリストで、インポートするカタログを含む CSV ファイルを選択します。
- ステップ 15** [インポートしたディレクトリ URI カタログ (Imported Directory URI Catalog) ] ドロップダウンリストで、[インポートしたグローバルダイヤルプランカタログ (Imported Global Dial Plan Catalog) ] ウィンドウで名前を付けたカタログを選択します。
- ステップ 16** [ジョブの説明 (Description) ] テキストボックスで、実行するジョブの名前を入力します。
- ステップ 17** 次のいずれかの手順を実行します。
- ジョブをただちに実行する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately) ] オプションを選択し、[送信 (Submit) ] をクリックします。
  - 所定の時刻に実行するようにジョブをスケジュールするには、[後で実行 (Run Later) ] ラジオ ボタンをオンにして、[送信 (Submit) ] をクリックします。

[後で実行 (Run Later) ] オプションを選択した場合は、ジョブの実行時刻をスケジュールするのに、一括管理ジョブ スケジューラーを使用する必要があります。

Cisco Unified Communications Manager は、インポートしたすべての +E.164 パターンを、グローバルな学習された +E.164 パターン パーティションに保存します。

---